

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

生徒の自己実現に資する教育活動

- (1) 授業改善を通じた確かな学力を育む学びの推進
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 未来を拓き夢を実現するキャリア教育の充実
- (4) 地域住民に開かれ、信頼される学校づくり

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- (1) 地域や世界の現状を理解し、問題点を把握できるようになる。
- (2) 必要な情報を収集できるようになる。
- (3) 把握した問題点から、解決する方策を考えることができるようになる。
- (4) 調べたことや活動内容を自分の言葉で表現し発表できるようになる。
- (5) 地域や社会の問題解決のために、自ら行動できるようになる。

総合的な探究の時間の学習評価

- (1) 地域や社会の状況を分析し、問題点を把握できた。
- (2) 書籍やインターネットを利用し、正しい情報を収集できた。
- (3) 情報をもとに、問題解決の方策を考えた。
- (4) 掲示物や口頭で、自分の考えを表現し、他者に伝えることができた。
- (5) 地域や社会の問題を抜き出し、問題解決のためにできることを考え、行動することができた。

生徒の実態

- ・ 進路状況は、約6割が大学・短大に、約3割が専門学校に進学、約1割が就職である。
- ・ 保育士・幼稚園教員や看護師等の医療関係を志望する生徒が多い。
- ・ 進学・就職ともに地元指向が強く、地域の発展に貢献している。
- ・ ボランティア精神を持つ生徒が多く、地域の施設と連携したボランティア活動に積極的に参加している。

生徒の発達をどのように支援するか  
○配慮を必要とする生徒への指導

- ・ コミュニケーションを苦手とする生徒に対し、個々に細やかな対応と支援をする。

目指す生徒の姿

- ・ 課題を見つけそれを解決する力を身に付ける。
  - ・ ボランティア活動等を通して地域社会に貢献できる心豊かな人物となる。
  - ・ 広い視野をもち、地元だけでなく広く活躍の場をもつことができる。
- 他者をいたわり、ボランティア精神をもつことができる。

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

【知識及び技能】

- ・ SDGsの基礎知識・各項目を具体的に学ぶ中で、身近な問題と結びつけて考え、伝えることができる。
- ・ SDGsの各項目について様々なツールを使って調べ、SDGsの観点から地域社会・国際理解等について学び発表することができる。
- ・ SDGsについて知識を深め、何が問題で何が必要か、またできることは何かについて理解することができる(有限性、多様性、協働性等)。
- ・ 人間としての在り方や将来の生き方を考え、職業の選択と社会貢献及び自己実現、働くことの意味や価値と社会的責任を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・ 地域・世界の現状について理解し、自らの問題として考え、その解決に向けて主体的・協働的に話し合うことができる。
- ・ 課題解決・進路実現に向け、必要な情報を収集(書物・インターネット等)、整理・分析し、理論的にわかりやすくまとめ(ワークシート・パワーポイント等)、ICTを活用して発表することができる。

【学びに向かう人間性等】

- ・ SDGsの各項目と身近な問題を結びつけて考え、自らの日常生活を振り返り、自分にできることは何かを考えて行動することができる。
- ・ 持続可能な社会の実現を果たすために社会の形成者としての自覚を持つことができる。
- ・ 自己理解・他者理解・探究を通して、自己を見つめ、自分の個性や特徴に向き合っている。
- ・ 自分の興味や進路と関連づけて、真摯に課題に向き合い取り組んでいる。
- ・ 自己の進路を将来社会の理想実現と関連付けて考えている。

学習活動、指導方法等

- ・ SDGsの理解を含めたオリエンテーションを行う。
- ・ 総合的な探究の時間にSDGsに関する課題を見つけ、書籍やインターネット等を活用して探究学習を深める。
- ・ 探究活動の成果をグループで発表することにより主体的で協働的な学びを推進し、表現力やコミュニケーション能力を育てる。
- ・ 文化祭に生かすため、クラスで話し合い、環境に配慮したクラスの企画を考える。また、SDGsについて広く知ってもらうために、来校者に企画をアピールし、SDGsについて掲示をする。
- ・ 1学年では、JICAと連携を取り、世界の問題点を知り、世界や世界のなかの日本・地域の問題を考え、解決する方法を模索する。
- ・ 2学年では修学旅行先の沖縄について、SDGsの観点から問題を考え、沖縄の人たちとふれあいながら、問題解決の方法を模索する。
- ・ 世界のなかの地域として問題について考えてきた1学年では、日本全体に範囲を広げて考えていく。
- ・ 沖縄の問題について考えてきた2学年では、世界全体に範囲を広げて考えていく。
- ・ ボランティア精神を育むために、全校ボランティアデイをはじめ、近隣の施設での活動を行う。
- ・ 探究活動での実践活動では協力してくれる企業や地域の自治体、NPO法人と連絡を取り、必要に応じて校外でも体験活動ができるようにする。

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- ・ クラス単位での活動が多くなるため、担任・副担任が各クラスの指導を行う。
- ・ SDGsの意識を広めるため、校内での活動を進め、さらに意識を家庭にも広げていく。
- ・ 既にSDGsに取り組んでいる企業や大学、地域の施設、地域の自治体、NPO法人と連携を取り、取り組み状況を教わりながら自分たちの活動に生かしていく。